

行政評価シート(事後評価)

コード 6-3-3	事務事業名 児童館の運営管理	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	-------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	乳幼児から18歳までの児童の健全育成支援や乳幼児保護者への子育て支援、放課後児童健全育成活動支援、安全な居場所・遊び場づくりを目的とする。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等		
	児童館事業を市内13児童館1分室において実施している。 事業費には、児童館職員39人分の人件費を含む。		
事業開始時期	合併前から	年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			350,160	357,816	360,421
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他 ()					
	一般財源		350,160	357,816	360,421	380,082
所要人員(B)	人		0.70	0.70	0.70	0.70
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		5,730	5,713	5,713	5,713
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		355,890	363,529	366,134	385,795
単位当たりコスト						
(E)=(D)/ (施設設置数)	千円		25,421	25,966	26,152	27,557

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	施設設置数	実績値	施設	14	14	14	14
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
評価指標の設定	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 次 延べ利用者数	目標値	人				
実績値		人	430,142	429,843	412,524		
二 次 利用者アンケート	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 利用者アンケートの検討							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	今後の児童館のあり方、機能・役割を踏まえた再編成を子ども福祉審議会へ諮問する予定である。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	施設設置数は26市中1位である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間に業務委託を行う自治体が出てきている。

コード 6-3-3	事務事業名 児童館の運営管理	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	-------------------	----------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成23年度下保谷・ひばりが丘の両児童館の建替えに伴い、市内児童館の機能を分化した児童館の再編成について、関係職員により検討を行っている。 なお、一部施設においては運営のアウトソーシングを視野に検討中である。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>児童館は、対象が乳幼児から18歳までと幅が広く、乳幼児保護者への子育て支援並びに安全な居場所・遊び場づくりなど、求められるニーズが多様化している。これらのニーズに対応するためには、市内13施設1分室の児童館のあり方・機能・役割を明確にするとともに、児童館に併設する学童クラブも多いことから、学童クラブのあり方等も含めた施設の再編を検討する必要があると考えられる。 施設の再編の検討に当たっては、特性のある児童館として再構築し、機能・位置付けを明確にするとともに、先進自治体のアウトソーシングの状況等も把握しながら、子ども福祉審議会において検討されたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>利用者数が高い数値で安定していることから、子どもや親の要望に一定程度応えられていると考えられる。今後は、二次評価にあるとおり、多様化する市民のニーズにあった事業として継続していくことを目指し、学童クラブも含めた施設再編の方向性や、アウトソーシングによる事業運営の効率化について、他市の状況も踏まえながら、子ども福祉審議会等において検討されたい。</p>